

一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会ワーキンググループ（第1回）会議要旨

1 開催日時 平成21年4月16日（木） 13時30分から14時30分まで

2 開催場所 東京区政会館20階203会議室

3 出席委員 16名（委員15名、代理出席1名）

4 会議内容

- （1）一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会の設置について
- （2）一般廃棄物処理基本計画改定について

5 会議経過の概略

（1）一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会の設置について

- ◆事務局から資料1に基づいて検討委員会及びワーキンググループ（以下「WG」という。）の設置主旨、検討スケジュール等を説明し、資料のとおり了承されました。
- ◆会議内容について、事務局で会議要旨を作成することが了承されました。

（2）一般廃棄物処理基本計画改定について

- ① 現行の一般廃棄物処理基本計画とごみ処理の現状について
- ② 現行の一般廃棄物処理基本計画の主な課題
- ③ 一般廃棄物処理基本計画改定における検討事項について

- ◆①から②について、事務局から資料2～5に基づいて一廃基本計画の現状と課題等を説明し、資料のとおり了承されました。
- ◆③について、事務局から資料6に基づいて一廃基本計画の検討事項とWGへの検討下命事項を説明し、資料のとおり了承されました。

委員からの質問・意見等

＜資料5について＞

◎ 持込ごみと管路ごみとはどのようなものか。（質問）

⇒ 持込ごみは、事業者から発生した一般廃棄物で、事業者が自ら清掃工場に持ち込むものや事業者の委託を受けた一般廃棄物収集業者が収集して清掃工場に持ち込むものです。管路ごみは有明清掃工場のある臨海副都心地域でパイプラインを使って集められたごみです。（清掃一組）

- ◎ 中防埋立地については、サーマルリサイクルで不燃ごみが減って、ごみ捨て場と言うよりは造成地といった感じの施設になっている。なおかつISOやオリンピック・パラリンピックの競技会場候補地になるなど環境面に大変気を使っている。(情報提供)

<資料6について>

- ◎ 現行計画と実績の乖離が20年度で約30万トンということだが、ごみ量に対して清掃一組の施設整備計画が立てられているが、このWGで施設整備計画まで検討するのか。また、可燃ごみの組成が変わったことにより、ごみ焼却カロリーも上がって、ごみ焼却量も変わってきていると思うが、その点まで踏み込んで検討するのか。(質問)

⇒ 現行計画の基本的な方針や清掃工場の建替順序については変えることは考えていないが、施設整備計画の見直すべきところは見直そうと考えている。

施設整備計画の見直しに当たっては、ごみ量が減少している一方でごみ焼却カロリーが清掃工場の設計カロリーを超える場合は焼却量を落として対応せざるをえないといった要素を踏まえる必要がある。

また、現行計画では焼却余力を7%としているが、現状や他政令指定都市と比較しても厳しい数字であり、見直しが必要となる可能性がある。

- ◎ 現行の計画期間の15年間に對して、改定後の計画期間を32年度までの11年間とした理由は。(質問)

⇒ 計画の見直しということで計画期間の最後は変えずに11年間としたが、実際には施設整備の工期が後ろにずれてきていることもあり、場合によっては計画期間を15年間に延長する場合もあり得る。(清掃一組)

- ◎ スラグ有効利用のようにごみ量予測(検討課題1)と施設整備計画(検討課題2)に関わってくるものがあるが、検討課題1と2は同時並行的に検討するということか。(質問)

⇒ WGでは、各回ごとに検討テーマを設定し、その中で検討課題1と2を同時並行的に検討することを予定している。(清掃一組)

- ◎ 施設整備計画(検討課題2)における焼却能力の検証・見直しと「負担の公平の問題(平準化等)」は関連してくるのか。(質問)

⇒ 負担の公平の考え方について、清掃一組としても再度整理してからお答えしたい。

平準化については、①長期的な建替えの中で施設の配置上のバランスを整える長期的な平準化と②搬入に係る平準化がある。搬入に係る平準化については、ごみカロリーが清掃工場の焼却能力に与える影響を十分に検討した上で、できるだけ搬入に影響が出ないようにしたいと考えている。

◎ ごみ量予測（検討課題１）に関連して、負担の公平では 28 年度までには負担が無くなるということであったが、これを視野に入れて検討する必要があると思うが。（質問）

⇒ 負担の公平では、減量目標を立てて 23 区全体としてその目標値を下回れば負担が無くなるということであり、28 年度に自動的に負担が無くなるという話ではないと理解している。

減量目標の達成については各区の取組に関わってくるので、清掃一組として予測しがたい部分がある。また減量目標に基づいて施設整備をしたところ、減量目標が達成できなかったのがごみが処理できないということがないようある程度余裕をもって計画を立てざるを得ないと考えている。（清掃一組）

◎ 灰溶融施設のことで、清掃一組の溶融処理技術検討委員会との整合性はどうなるのか。（質問）

⇒ 溶融処理技術検討委員会の検討結果をできるかぎり反映させていきたい。溶融処理技術検討委員会は現状の施設の安定稼働と経済性の向上に絞って議論しているので、もう少し広い視点の議論をこの検討委員会で御検討いただくことになると思う。（清掃一組）

<その他>

◎次回以降、資料の事前送付をしていただきたい。（意見）

⇒次回以降は、一週間前を目途に資料を事前送付したい。（清掃一組）